速報　ＪＲ総連緊急対策本部情報
ＪＲ総連 東北地方太平洋沖地震 緊急対策本部情報
2011年３月28日
23：00発行　№22
発行：全日本鉄道労働組合総連合会

頑張ろう！被災者のみなさん。

辛さを噛みしめ、支援活動

支援行動レポートvol.10

労使のルールには厳しい目でチェック

【21日・盛岡地本にて】

支援物資を満載した４ｔトラック２台は21日、ＪＲ東労組盛岡地本事務所に到着。ＪＲ総連とＪＲ北海道労組は、直ちに坂本委員長と石崎書記長らから、組合員の安否状況、被災地の現状について報告を受けました。

石崎書記長と佐々木組織部長はともに宮古出身で、親戚の方が被災されています。石崎書記長は「涙が出てくるので、詳しい報告は私からはできない」と目を潤ませるなど、災害の悲惨さと辛さが込み上げてくることが伺えます。しかし、会社がやみくもに復旧を優先させたり、何でも『就業規則』を当てはめ、労働側のルールを破ったり安全性を無視するようなことがあれば、労働組合として毅然とした態度で臨む強い姿勢も明らかにしました。

盛岡地本では、組合員や家族の安否状況、家屋の被害状況などを個別に把握し、表にまとめ、直ぐに対応できる体制がつくられています。その把握に基づき、翌22日は、北海道からのトラック２台はそれぞれ宮古方面と釜石方面へ、盛岡地本の車は気仙沼へと３班に分かれ、被災地で必要な物資を届けます。

打ち合わせがおわると、直ちに物資を３班分に分ける作業を開始。盛岡運輸区分会の組合員の協力を得て、トラックに積み込みました。被災地の皆さん、待っていてください。